

デジタルを全てのひとの元気と活力のために

一般社団法人ICTリハビリテーション研究会

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



沿革・事業内容・実績

- 2017 任意団体ICTリハビリテーション研究会発足
- 2018 ICTリハビリテーション研究会法人化、ファブラボ品川ローンチ
- 2019 『はじめてでも簡単！3Dプリンタで自助具をつくろう』
を三輪書店より出版
国際協力貢献活動を積極的に開始
- 2021 『無料データをそのまま3Dプリント 作業に出会える道具カタログ/事例集』を三輪書店より出版
- 2023 三菱財団社会福祉助成により、3Dプリンタで自助具をつくるためのプラットフォーム「COCRE HUB（コクリハブ）」
を構築、運営を開始。それに伴い事例集を出版。
3Dプリント自助具デザインコンテストの開催を開始。

2025年5月7日現在、正会員45名 一般会員333名



書籍1(2019)



書籍2 (2021)



展示会出展の例 (MakerFaireTokyo2023)

1. 研修会・ワークショップ・イベント運営
(年間平均実績25)
2. 展示会出展による啓蒙活動
3. コンテスト運営事業
(3Dプリント自助具デザインコンテスト)
4. 公益情報提供事業 (COCRE HUB)
5. 関連研究活動
(企業、研究機関、個人との共同研究・共同開発)
6. 途上国支援活動

毎月の研修会10名×2=20×12ヶ月=240名,全国研修会30名×6箇所=180名,マイカソン200名,海外でのワークショップ200名,展示会600名 年間合計1,420名がコア人材としてプラットフォームを活用し、それぞれ年間のべ18名に自助具を作成したとし、**新たに毎年のべ25,560名の国内外の障がい当事者にICT／3Dプリンタを活用し自助具を作成・提供している。**



〈作業〉に出会える
3Dプリンタ活用事例集
(2023年自費出版)

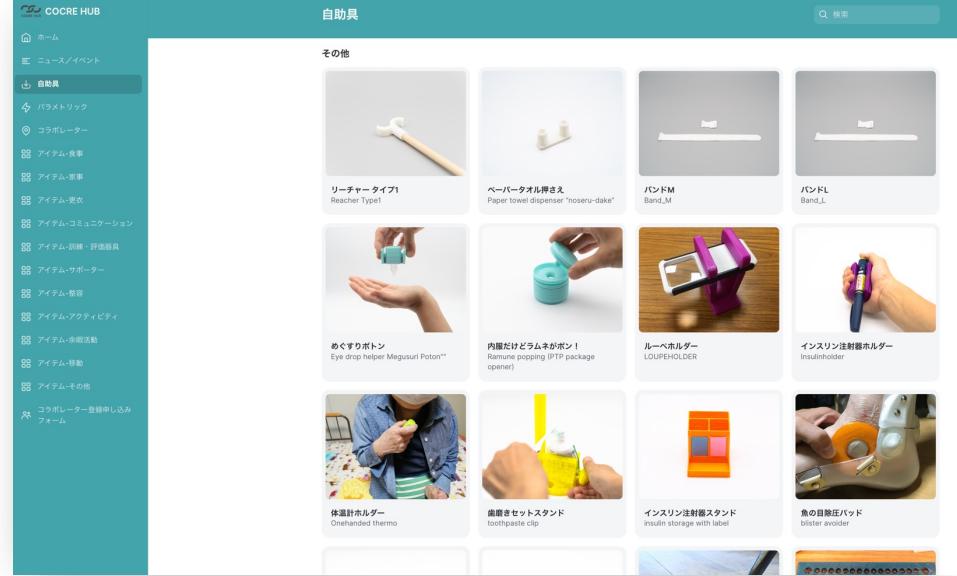
3Dプリンタで障害者ケアやリハビリテーションのための道具を共創するためのウェブプラットフォーム

主要コンテンツ

- ・無料でダウンロードできる3Dモデル
(約250モデル：全モデル出力評価済)
- ・3Dモデル寸法調整サービス
(21種類：数値入力でカスタマイズモデルがダウンロードできるサービス)
- ・学習用資料：チートシート
(6種類：無料でダウンロードできる3Dプリント学習資料)
- ・コミュニティ・マップ
(つくれる・教えてくれる・相談できるコミュニティ情報)
コラボレーター数：全国約80 (2025年5月7日現在)

<https://cocrehub.com/>

Panasonicさんの
家電用パーツの
モデル共有を開始しました！



自助具3Dモデルプラットフォーム「COCRE HUB」



「COCRE HUB」内の寸法調整サービス

3DプリントメーカーのBambu Lab社が運営する
コミュニティサイト‘Maker World’上のCOCRE HUB
(公益財団法人日本フィランソロピック財団 第2回「未来
の介護基金」により作成しました)

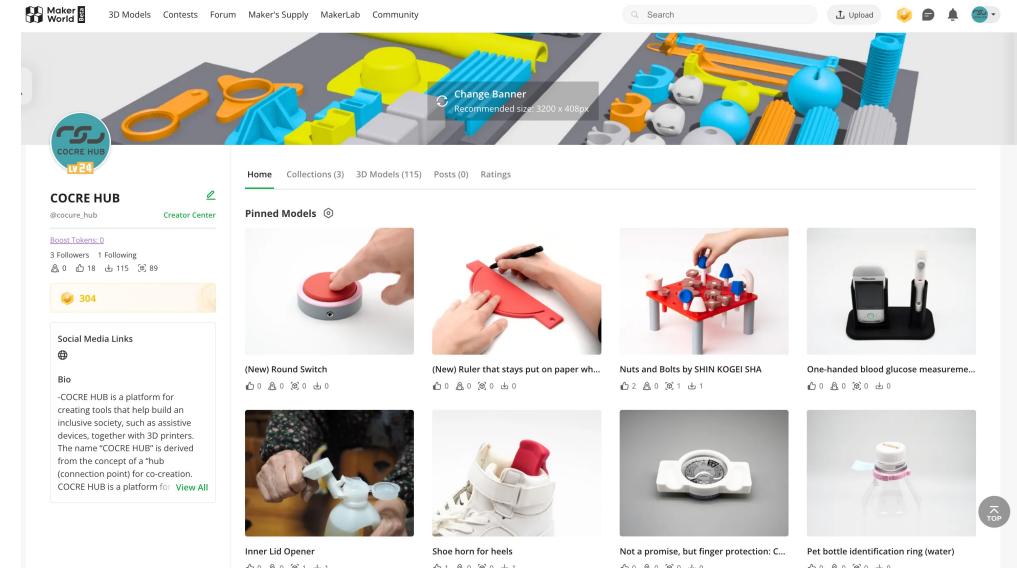
コンテンツ

- ・無料でクリックするだけでプリントできるモデル共有
(115モデル)

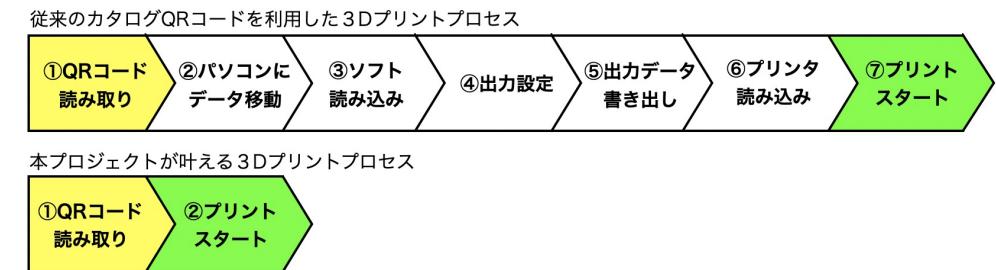
注目の点！

・従来方法と比較し、3Dプリントのプロセスを大幅に
簡略化。誰でも簡単にスマホやタブレットからでも、
「選んで送信」するのみで造形することができる。
大幅に3Dプリンタユーザー層やサービス利益の享受者を
増やせる期待大。

https://makerworld.com/en/@cocure_hub



COCRE HUB @ Maker World



COCRE HUB @ Maker World が叶える圧倒的に簡単な3Dプリント体験

コンテスト

障害者ケアやリハビリテーションのための 道具や教材の3Dモデルを無料公開前提で成 果を競い合うコンテストを継続開催

- ・優秀賞には3Dプリンタを進呈
(優秀作品は、COCRE HUBに掲載予定)

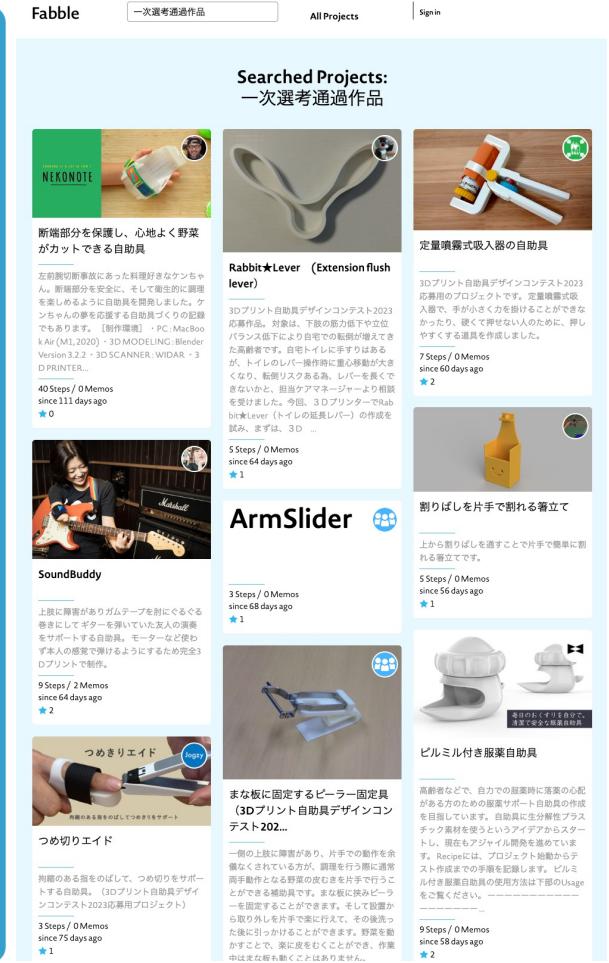
協贊協力團體・企業

- ・株式会社サンステラ
 - ・株式会社エクストラ・ボールド
 - ・株式会社北陸エンジニアプラスチック
 - ・一般社団法人コンピュータ教育振興協会
 - ・株式会社良品計画
 - ・株式会社エイチタス
 - ・品川ビジネス・クラブ

昨年度のコンテストは、
TBS NEWS23にて
特集されました！



コンテストフライヤー



一次選者通過作品

インクルーシブ・メイカソン

障害当事者と共にチームで短期間集中して自助具を作成し、成果をオープンソースにするイベント「インクルーシブメイカソン」を、ワークショップの集大成として2018年より計12回主催・共催にて開催している。



日本科学未来館で開催したインクルーシブ・メイカソンの集合写真
(協賛:在日フランス大使館・BNPパリバ銀行、他にて実施)

- 2018.9 (1Day) 会場: おおたファブ (東京都)
- 2018.12 (1Day) 会場: おおたファブ (東京都)
- 2019.3 (1Day) 会場: 横浜コミュニティデザインラボ/ファブラボ関内 (神奈川県)
- 2019.6 (1Day) 会場: 世田谷ものづくり学校 (東京都)
- 2019.9 (2Days) 会場: Good Job! Center KASHIBA (奈良県)
- 2019.10 (1Day) 会場: 品川区産業支援交流施設 SHIP (東京都)
- 2019.12 (1Day) 会場: 東京工科大学 (東京都)
- 2020.1 (2Days) 会場: 会津大学 (福島県)
- 2020.7 (1Day) 会場: オンライン
- 2021.1-2 (6Weeks) 会場: オンライン TOM メイカソン Tokyo (厚生労働省後援)
- 2021.9 (1Week) 会場: 品川区産業支援交流施設 SHIP (ハイブリッド) フード・メイカソン
- 2023.5 (3Days) 会場: 日本科学未来館 FABRIKARIUM TOKYO 2023
- 2024.2 (3Days) ブータンSuper FabLabにてADB (アジア開発銀行の支援にて開催)
- 2025.2 (3Days×3カ国) ブータン、ネパール、スリランカにて開催



直近で開催したインクルーシブ・メイカソン
「FABRIKARIUM TOKYO 2023」のダイジェスト動画リンク
<https://vimeo.com/832217255?share=copy>

活用事例

CASE : 1



フライパンでオムライスを
つくるための道具

先天性前腕欠損の方が、オムライスなどを自分で調理しやすくなった例。前腕ソケットにフライパンを固定できる道具を作成して取り付けた。

CASE : 2



スイッチベース

上肢に麻痺のある方がタブレット端末を操作することができるようになった例。市販のスイッチと、「どっちもクリップ」をつなぐ土台を3Dプリンタで作成した。

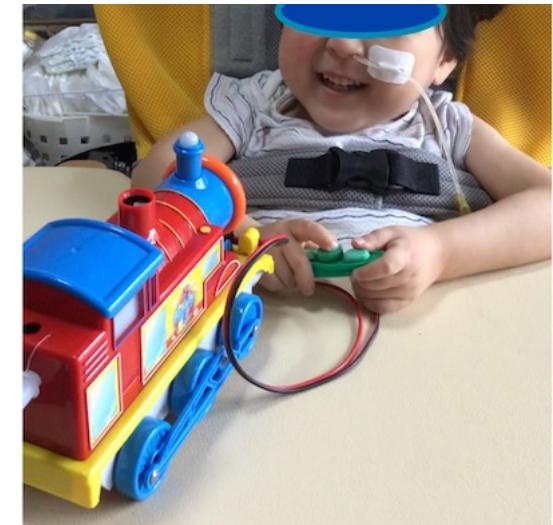
CASE : 3



おもちゃスイッチ
(肉球スイッチ)

重度の運動発達障害の方が既存のおもちゃを主体的に様々な姿勢で操作できるようになった例。小さな手で柔らかく押せる、肉球の形状を模したスイッチを3Dプリンタで作成した。

CASE : 4



枝豆スイッチタップ

重度の運動発達障害の方がおもちゃを主体的に操作できるようになった例。枝豆の形状を模した手触りの良いスイッチを3Dプリンタで作成した。

【支部】

- ・北海道道東支部
- ・北海道道西支部
- ・東北支部（宮城県名取市）
- ・東京支部（東京都品川区）
- ・東海支部（愛知県名古屋市）
- ・中国支部（広島県呉市）
- ・山陰支部（鳥取県米子市）
- ・九州支部（大分県大分市）



COCRE HUBのコミュニティマップ

【連携国内団体】

ファブラボ品川

一般社団法人ファブリハ・ネットワーク

一般社団法人3Dプリント自助具デザイン協会

合同会社Well being

株式会社Nurse and Craft

株式会社アシテック・オコ

アクセスエール株式会社 他

【国際支援活動実績】

インドネシア、ブータン、フィリピン、韓国

ネパール、スリランカ

※プラットフォームを活用したワークショップの提供や3Dプリントした自助具の提供を現地団体と連携して行っている。



インドネシアでのワークショップ



ブータンでのワークショップ1



ブータンでのワークショップ2

受賞歴・メディア掲載

受賞歴

YouFab Global Creative Awards 2019

誰もが生き続けるためのメイカソン
FINALIST 受賞

Material Driven Innovation Awards 2022

TRF+H - Well-beingを叶える3Dプリント素材
FINALIST 受賞

| TRF+H - Well-beingを叶える3Dプリント素材



第4回 ジャパンスカラシップ岩佐賞 受賞

3Dプリンター活用し、障害者の自助具を

令和6年度 STI for SDGs アワード 科学技術振興機構理事長賞 受賞

自助具3DプラットフォームCOCRE HUBによる
持続可能社会の共創

メディア掲載

2021 チェンジ・ザ・ワールド～世界を変える志～ テレビ東京

2022 ゆう5時～インクルーシブなもののづくり特集～ NHK

2023 ゆう5時～3Dプリンタで自助具をつくる～ NHK

2024 ハートネットTV NHK

2024 TBS NEWS23 SDGS特集

2021 3D印刷で造形 ドライヤーで変形 日経新聞関西版 夕刊1面

2021 自助具作りで障害者リハビリ 日経産業新聞8面

2022 クリエイティブで喜び溢れる未来のリハビリはすぐそこに リハノワ
<https://rehanowa.com/hayashisonoko>

2022 3Dプリンタで独楽づくりみんなのアイデアを形に 西日本新聞
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/996604/>

他、多数



2022年NHK ゆう5時



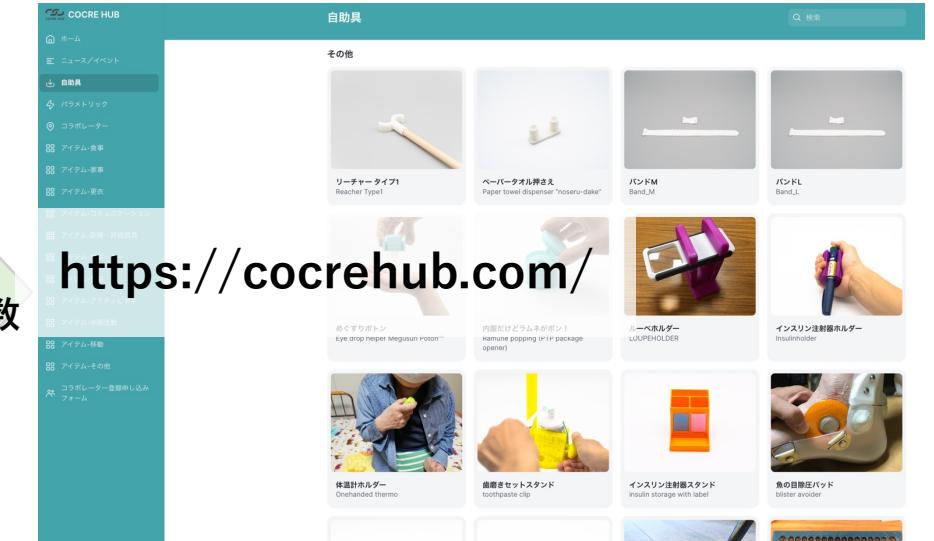
2023年NHK ゆう5時

展望

- ・3Dプリンタで自助具を作製できる人を増やす
(年間2000名目標。3年後には10000名による年間10万件の道具作成に繋げる。年間予算3000万円調達目標。)
→手段：ワークショップの開催（国内50名規模を年間5回、100規模を2回、国際ワークショップを3回、展示会への出展）
- ・コンテストの定期開催などによる良質なアイテムの増加
(年間200アイテムの増加で、3年後には1000アイテムが掲載されているプラットフォームに成長)
→手段：2023年から始めた3Dプリント自助具デザインコンテストの開催、事例集の毎年の出版
優秀作品を評価し、3DモデルとともにCOCRE HUB (<https://cocrehub.com/>) に掲載していく



アイテム数
コミュニティ数



プラットフォーム「COCRE HUB」